



**JASDAQ**

平成19年10月22日

各 位

会社名 ト ッ キ 株 式 会 社  
代表者名 代表取締役社長 津上 晃寿  
(JASDAQ・コード9813)  
問合せ先 経営企画部長 大新田 納  
電 話 03-3551-3151

**有機ELデバイス用『PE-CVD膜封止装置』の技術開発および  
同装置で製作したサンプル展示のお知らせ**

当社は、GE(ゼネラル・エレクトリック社)の中央研究所であるGEグローバル・リサーチと共同開発してまいりました『PE-CVD膜封止装置』による膜封止の技術開発に成功したことをお知らせいたします。また、この装置を用いて製作した有機ELデバイスのサンプルを「FPD International 2007」の当社ブースで展示することも併せてお知らせいたします。

記

1. 開発の経緯および現状

当社は、2007年1月よりGEグローバル・リサーチとPE-CVD膜封止装置の共同開発を行っており、この度、GEグローバル・リサーチのウルトラハイバリア膜(以下UHB膜)を有機EL上に形成する装置の技術開発に成功いたしました(※1)。

当社は、この装置の技術開発によって、有機ELディスプレイ、有機照明、有機薄膜太陽電池等への薄膜封止の採用に大きく貢献できるものと確信いたします。

2. PE-CVD膜封止装置の概要(※2)

- (1) 基板サイズ： 第4世代(730mm×920mm)。尚、今回の技術検証は200mm角の基板上で行っております。
- (2) 装置構成： 基板搬送室、成膜室
- (3) 主な開発要素： UHB膜形成用成膜ガス制御装置、UHB膜成膜ソフト他

3. ” FPD International 2007” への出展概要

当社は、フラットパネルディスプレイ業界の展示会である” FPD International 2007”に出展いたします。当社ブースでは、今回技術開発に成功いたしましたPE-CVD膜封止装置の概要説明に加え、同装置で製作した膜封止有機ELデバイスのサンプル展示も行います。

2007年10月24日(水)～26日(金) 10:00～17:00 パシフィコ横浜 ブースNo. 611

展示会の詳細については、FPD Internationalのホームページをご覧ください。

<http://techon.nikkeibp.co.jp/fpd/2007/index.html>

4. 今後の予定

当社は、今後顧客とともにUHB膜のバリア性能評価実験を行ってまいります。

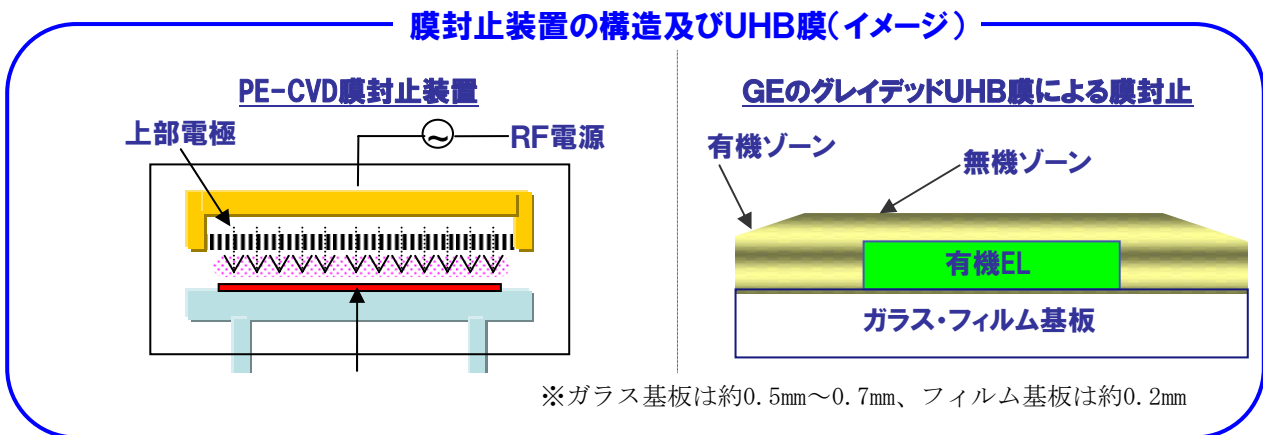
## 【GE、およびGEグローバル・リサーチについて】

GEは、“imagination at work 想像をカタチにするチカラ”をスローガンに、テクノロジー、メディア、金融サービスという多様な分野で事業展開し、世の中の困難な問題の解決に向けて努力しています。航空機エンジン、発電、水処理・セキュリティ技術から医療用画像診断装置、企業向け・個人向け金融、メディア、にわたる幅広い商品とサービスを、世界100カ国以上のお客さまに提供しており、約30万人の従業員を擁しています。詳細は、GEのホームページをご覧ください。GEは、日本においても100年以上にわたって事業展開しており、社員は約8,000人を数えます。日本におけるGEの事業・活動等については、[www.gejapan.com](http://www.gejapan.com)をご覧ください。

GEグローバル・リサーチは、米国初の企業研究所です。長い歴史を持ち、世界有数の多様性に富んだ研究開発センターの1つとして、GEの全てのビジネスと連携し、革新的なテクノロジーを供給しています。GEグローバル・リサーチは、百年以上にわたりGEのテクノロジーの中核として、医療画像、発電、航空機エンジン、先進材料や照明などを含む、様々な分野における革新技術を開発しています。GEグローバル・リサーチはニューヨーク州ニスカユナに本部を置き、インドのバンガロール、中国の上海、ドイツのミュンヘンにも研究開発拠点をもち、約2,700人の研究者が研究開発活動を続けています。詳細については、[www.research.ge.com](http://www.research.ge.com) をご覧ください。

## 【ご参考】

(※1) UHB膜封止イメージ図



(※2) PE-CVD膜封止装置外観

